

# インドマザーテレサボランティア&ホームステイプログラム

**参加期間** 2013年 7月 2日 ~ 2013年 7月 10日まで ( 1週間)

## 参加の動機

世界中から集まるボランティアやマザーの意思を継いだシスターと共に異国の地でボランティア活動をしてみたかったから。

## ホームステイ滞在に関して

家族構成:    その他 ( )

ペット: 有 ( )

食事: 非常においしかった  普通 おいしくなかった 食べられなかった

生活形態について (日本での生活と較べて異なる点、注意点など):

エアコンディショナーはなく、天井に取り付けてあるファンにたよるのみ。5階に位置している為、風通しは良いが、夜になっても冷え込むことはない。食事は10時くらいと大分遅め。

感想:

初めてのインドで心配していたので、ホームステイという選択は悪くなかった。日本人を何人も泊めているのか、日本人には慣れているので英語が不安な人でも大丈夫。訛りはどうしてもあるので、英語の上達というよりも、話すチャンスを得られる、と言ったようなものであるのが正直な感想。話しはもどつて、日本人慣れ。あらかじめ、汗疹や下痢に良く効く薬を用意しているらしく、日本でわざわざそろえなくても、最低限の用意で大丈夫。インド映画好きな家族なので日本で一本観て行くと話しが弾むかも。ついでに僕は“きつとうまくいく”という有名な映画を観て行ったので、家族との話しの種だけではなく、毎晩のテレビで流れるインド映画も楽しめました。その俳優と女優がかなり有名なのでテレビにしょっちゅうでるので。唯一オススメ出来ないのが、マザーハウスまで遠い事。毎日ミサに行く予定だった僕は朝4時起きでした。なので、1週間という選択で良かったと思う。だが、アパートメントはとても安全だと思うので、一回目で心配な方にはもってこいだ。

## ボランティア活動に関して

活動先施設:  プレムダン (病気や精神障害のある患者)

シャンティダン (子供、精神障害者)

シシュババン (健常孤児院、又は障害孤児院) シシュババンハウラー (孤児、重病の女性の家)

活動内容と感想 (活動期間、回数、時間等も併せてご記入下さい):

一週間のみの活動でした。マザーハウスで朝のミサを6時から、7時から朝ご飯 (チャイと食パンとバナナ) を終わると施設毎に集まってボランティア先へと向かう。日曜日の午前にはストリートチルドレンと遊ぶというボランティアの為、1時間半かけナポジボンへ行った以外はカリガートとダヤダンに参加。8~10時は主に洗濯 (手洗い)、屋上に干す作業、ベットメイキング、フロアの掃除、患者との会話やマッサージ。10時すぎから中休み (チャイとビスケット、そしてトーク) が11時まであり、休憩所の隣部屋からカレーの香りがしてきたら仕事再開。食事タイムだ。独りで食べられない人の手伝い、ご飯や水を運ぶことから、食器洗い、ベッドまで連れて行くなど、個人個人ができることを探してわさわさする

時間。それを終えて、カラカラに乾いた洗濯物を取り入れ置むと、お腹の空きがピークに達し、ふと気付くと12時を回っている。荷物を持ったらメトロに乗るグループなどで集まり、サダルストリートへ向かい、一緒にご飯を食べる。次のボランティアが5駅分サダルストリートの最寄りの駅からあるため、今度は一人でダヤダンを目指す。パークストリートステーション（サダルストリートの最寄り駅。）からだいたい40分。月水金はストリートチルドレンの為に学校をひらいているのか、何人か元気な子供がいるので早めに行くと、「写真をとってくれ」だの、「遊んで遊んで」だのとせがまれる。15時から午後のボランティア再会。一階には男子、三階には女子がいる。僕の行っていた男子フロアではまずロザリオの祈りの後、散歩に行く日や二階で遊んだりなど、4時半まで基本的にプレイタイム。4時半からは食事タイム。障害を持っている子達の食事の手伝いや、食事後のチップスの封をあけたりしているうちに、「アンクル、& § ▲ Å % # ※（ベンガル語）」とアンティ言われて時計をみると7時を回っているのでみんなにまた明日と。こうして僕の一日のボランティアは一終わる。

ホームステイ先からボランティア施設までの交通手段は？

朝はミサに参加する為にタクシーで（120～300ルピー）。帰りはパークストリートステーションから8駅目の駅（5～6ルピー）からバス（5ルピー）、またはオートリクシャー（7ルピー）で

...

**Cultural activities**に関して \*受講された項目のお値段、感想をお聞かせ下さい

英会話レッスン：日常会話のみを選択

**持ち物に関して**

日本より用意し、役に立ったものは？

除菌ウエットペーパー、トイレトペーパー、虫除け、目薬、アクエリアスの粉、室内用サンダル、体を拭くギャツビーの紙！？ 上着と靴下（コルカタ空港とそこからの飛行機が寒いので）英語力

その他、便利だと、いらない、思うものは？

手ピカジェル、マスク、手術用の手袋、大量のジップロックやビニール袋、

**コルカタ市に関して**

お勧めの観光スポット、お店、レストラン等があればお知らせ下さい：どこも楽しい

反対にお勧めできない場所等があればその理由もお知らせ下さい：特になし

**ご参加頂いた時期に関して**

気候、お天気はどうでしたか？

雨期だったため、雨具など嚴重な準備をして行ったけれども、一回も降らず、ラッキーだった。降ると言っても短時間に大量の雨らしく、ボランティアをしていれば室内ですし、外で降られたとしても雨宿りすればいいじゃないか、気分って準備や心配しなくてもいいのではと、インドにいて感じた。気温はとて、とて、暑く、一日だけ“すごしやすい”日があったのですが、それでも32度でした。

服装は？

マザーハウスが短パン禁止だったため、長ズボンを持って行って履いていたが、ボランティアで知るあった女子に親切なズボン屋さんを紹介してもらった。通気性◎履きやすさ◎ファッション性◎といったズボンをゲット出来るので、心配する必要なし。必ずそういったズボン（ボランティアの中では人気のズボン！？）を履いてる人がいると思うので聞いてみるといい。ついでにサダルストリートからスパニッシュカフェに行く私道の左側にあるのは親切である。

## インドの物価に関して

ご参加時のレートは？ 1ルピー＝約（ 1.9）円

何か購入されたものがあれば参考までお知らせ下さい：

スプライト 25ルピー バス 5～8ルピー メトロ 6ルピー ズボン 150～170ルピー

渡航にあたり予防接種を受けましたか？ はい  いいえ

はいと回答された方は、その種類をお知らせ下さい：ある程度受けているものもあったので

## 今回のご参加を通じて、最も印象に残っていることや今後の参加者へのアドバイスなど自由にお書きください。\*インドで撮られた写真をお貼り頂く際は、説明のコメントもお願いします

一番の感想はインドに行けたという感動が大きかった事。マザーの意思を継ぐシスターにであい、異国の地でミサを受け、世界中の人と出会う。またそんな静かで愛にあふれている建物を一歩でると大勢の人と大量の乗り物とが騒音をたてながら入り混じる。そんなインドにいけた事とそんなインドを感じられたことに感動した。僕の座右の銘“なんでもみてやろう”のもと、たった一週間の滞在を十分に利用し、いろんな人と出会い、一人で町を歩き回った。そして、何よりも、また戻ってきたいと思った。次はもう少し長い滞在で、安宿に泊まり、世界中の旅行者と夜まで話したいとも思った。

今後の参加者へのアドバイスは一言。“インドの風を感じろ”だ。日本的な感性も考えも捨てて、インドでインド人と、世界中からの旅行者と、大胆に生活し、インドを感じる。そうすればもっと楽しめるのでは！？日本であれこれ考えずに、時間とお金に余裕を見つけたらとりあえずインド行ってみて下さい！現地であれこれ考えたり用意すればいいことだし、カロール氏もホームステイ先もきっと親切でしょう。そう“きつとうまくいく”

\* 1 あるコルカタでの一枚。インド人、路面電車、タクシー、そして奥に見えるのが歩道にたてられた  
住まい.....

\* 2 サダルストリートからマザーハウスに向かう道での一枚写真からは想像出来ない騒音がとびかう.....

\* 3 陽気な人々の一枚。ホームステイ先の最寄りの駅をでると屋台の人に出会う。俺たち仲良しだから  
是非写真をとせがまれて.....



\* 1



\* 2



\* 3

**最後に、あなたのことをお知らせ下さい**

お名前（イニシャル、ニックネーム可）：RIO

性別：  男性 ・  女性

ご年齢：  10代 20代 30代 40代 50代 60代以上